

ポ
ン
コー
ン
イ
シ
ジョ
ー
フ
レ

鋼材用大型プレス導入

「日本初の工法 環境機器部品量産へ」

フジイコーポレーション

制を整えつつある。

ヨン(本社・新潟県燕市、社長・藤井大介氏)はこのほど、鋼材事業(燕市物流センター)に4台目となる大型プレス機(コマツ産機製、300ト)を導入した。

国のもづくり補助金を活用し、環境機器部品などの量産化の体制を整えつつある。

採択された事業計画名は「日本初の革新的プレス工法で、環境機器の効率を向上し、世界へ事業展開」。

同社は高張力鋼板を使用する農業機械部品を対象に、複雑な構造を小部分に分割し全体を予測する「FEM解

析技術」を活用したプレス成形技術を高めている。ジェットロの支援を受け、高付加価値なプレス部品の海外展開にも取り組んだ。昨年9月下旬には、米国・ニューオリンズで開催された環境・エネルギー関連の展示会「WE

新設した300トプレス

プレス加工したサンプル

調査を行った。今回導入した大型プレス機(サーボプレス)の特徴はフリーモーシヨンにより最適なプレス加工条件を見つけ出す点。プレス機のスライドスピード、位置を自在に変化させ、金型内部に材料を自動で搬送する機構を開発し、組み込んだ。それにより高精度で高い品質を可能にした。

研究成果を実用化した高付加価値部品を5月28日に需要家へ納品した。

これまでプレスする板材は人力で送給していたが、自動送りの機構で作業者の負担軽減を図ることもできる。一貫して作業環境の効率化を推進している。工場内はフォーク

リフトレスを推進し、省エネ、スペースの有効活用を実現。プレスりダイバーシティ経営作業者の負担を軽減する支えている。

ることは高齢者が働きやすい環境にもつながりダイバーシティ経営を支援している。